

風疹とは、風疹ウィルスが感染者の唾液や飛沫などによって他の人にうつる病気で、春から夏にかけて流行します。主症状は発熱、発疹、リンパ節の腫れです。1週間程度で自然に治りますが、症状が出る前後の約1週間は、周りの人にうつす可能性があります。妊娠初期の女性が風疹に罹ると、胎児にも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなど「先天性風疹症候群」という病気を発症する場合があります。

風疹の予防接種で、先天性風疹症候群から胎児を守ることができます。特に妊娠前の女性、妊娠中の女性の家族、ご主人は予防接種をご検討下さい。風疹は、今は成人に多い病気で、10代後半から50代前半の男性と、10代後半から30代前半の女性が多く発病しています。過去に風疹の罹患やワクチン接種の記憶がない方は、医療機関での風疹抗体検査をお勧めします。千葉県内にお住まいの方で、妊娠を希望する女性は風疹抗体検査の助成を受けることができます。「千葉県風しん抗体検査委託医療機関」にお尋ねください。

妊娠中、風疹の予防接種は受けられません、また妊娠前の女性は、風疹ワクチン接種後2か月は避妊が必要ですのでご注意ください。これは、風疹ワクチンは「生ワクチン」といって、生きている病原体を使うためです。